

人社の改進黨

一名古屋市立大学大学院人間文化研究科・人文社会学部未来プラン

I 改進黨策

1. 人文諸科学・社会諸科学の総合・複合学部、研究科として
名古屋都市圏市民の善き生活と名古屋市政と名古屋都市圏の持続
可能な発展に貢献します。

主要な取り組み

- ① 名古屋市教育委員会子ども応援委員会の事業を強力にサポートします。
- ・学校現場と教育に強い臨床心理士養成と公認心理師養成を行うための大学院改組と学部カリキュラム整備を進めます。期間 ii - iii
 - ・学校現場と教育に強い社会福祉士養成を行うための学部カリキュラムの整備を進めます。期間 ii - iii
 - ・子ども応援委員会に対するサポート（研修・実践プログラム開発）を進めます。期間 i - ii

名市大未来プラン

IV社会貢献-(5)名古屋市教育委員会との連携強化

- ② グローバル化・都市間競争の激化を踏まえた新しい都市研究・教育を通して名古屋市と名古屋都市圏の「まちづくり」に貢献するとともに、「まちづくり」に貢献する人材を育成します。
- ・都市政策研究センターでの研究・調査・分析の成果を教育として還元するため、自治体、企業、NPO 等において地域を支え、諸問題に対応できる人材を育成する教育実施体制を整備します。期間 ii
 - ・名古屋駅周辺の本学サテライトキャンパスに都市政策研究センターの窓口を設置し、市民、自治体、企業、NPO の社会調査ニーズに機敏に対応します。期間 ii - iii
 - ・名古屋市博物館などとの連携をさらに強め、文化都市の発展に貢献します。期間 i - ii

名市大未来プラン

IV社会貢献-(7)名古屋市との協働関係の強化

- ③ 名古屋国際センターや JICA との連携を強化し、名古屋市のグローバル化課題と多文化共生課題を担います。
- ・名古屋国際センターとの連携協定で定めた内容（地域の国際化の推進、多文化共生その他地域貢献の推進、教育・研究に関すること）を具体化し推進します。期間 i - ii

- ・ JICA と協力し、地域からの国際協力のあり方を検討し、地域発国際協力を推進します。
期間 ii - iii
- ・ 名古屋市観光文化交流局観光交流部国際交流課との新たな関係を構築し、名古屋市の姉妹都市との交流事業に協力します。期間 i - ii

名市大未来プラン
IV 社会貢献-(7) 名古屋市との協働関係の強化

2. 市民の方々が豊かな人生を送ることを支援するリカレント教育を充実させます。

主要な取り組み

- ① 名古屋市立大学全体の社会人リカレント教育の再構築（「学び直し学部（仮称）」の設置など）において中心的役割を果たします。期間 ii - iii
- ② 大学院に現職の保育士、教員（幼稚園、中学校、高等学校）、公務員、社会福祉専門職を積極的に受け入れ専門職のリカレント教育を進めます。期間 ii
- ③ 社会人向け講座、市民公開授業の拡充と「履修証明プログラム」等を導入し、社会人の多様なニーズに対応した受け入れ方法を構築します。期間 ii

名市大未来プラン
II 教育-(7) リカレント教育

名市大未来プラン
II 教育-(7) リカレント教育

名市大未来プラン
IV 社会貢献-(8) 地域に開かれた大学

3. 人文諸科学・社会諸科学の総合・複合学部として名古屋市立大学の教養教育とグローバル化に貢献します。

主要な取り組み

- ① 教養教育における講義を積極的に担い、名古屋市立大学の全学生の成長を支えます。
期間 i

名市大未来プラン
II 教育-(1) 多面的な教養教育

- ② 名古屋市立大学の「グローバル化アクションプラン」の発展に貢献します。特に学部留学生の派遣と受け入れとサポートの中心を担います。また留学プログラムの充実（4年での卒業やダブルディグリーなど）をはかります。期間 ii - iii

名市大未来プラン
V 国際化-(1)グローバル化アクションプランの策定

- ③ ESD 国際会議後の「持続可能性」課題の国際動向を踏まえ、絶えず ESD を柱とした教育・研究活動を革新していきます。期間 i - ii

名市大未来プラン
II 教育-(2)学部・研究科、大学間連携プログラムの推進

4. 市民のニーズを実現できる文系学部の拡充を進めます。

主要な取り組み

- ① 文系学部の発展拡充を目指し、全学的な検討を開始します。期間 i - iii

名市大未来プラン
II 教育-(3)学生数・教員数の増加

- ② 名古屋市立大学の他部局との連携を強化します。
- ・経済学部、芸術工学部との連携によるまちづくり研究と都市研究を強化します。期間 ii
 - ・経済学部と人文社会学部の学部授業の相互乗り入れを拡大します。期間 ii
 - ・医学部および、看護学部と協同し、医学部付属病院および関連医療機関での医療心理学の実践と学際的な研究を担える人材を育成する「医療心理センター（仮称）」の設立を目指します。期間 ii
 - ・地域医療教育と地域福祉教育の連携を進めます。期間 ii

名市大未来プラン
II 教育-(2)学部・研究科、大学間連携プログラムの推進
II 教育-(3)学生数・教員数の増加
IV 社会貢献-(1)全学的な社会貢献の推進

- ③ まちづくり、文化研究、外国語教育などで近隣大学との交流と連携を進めます。期間 ii

名市大未来プラン
I 総論-(9)他大学との連携強化

Ⅱ 個別課題 期間 i - ii

1. 研究

- ① 大型外部資金の獲得を目指します。
- ② 海外の研究者との共同研究を進め、研究成果のグローバルな発信を進めます。
- ③ 医療系・理系を含む異分野との共同研究を広げます。

2. 教育

- ① 外部資金獲得も視野に入れつつ、インターンシップの充実をはかります。
- ② 卒業後の人材輩出目標を明確にし、キャリアモデルを提示します。
- ③ 少人数教育を継続し、きめが細かく温もりのある教育をさらに進めます。
- ④ 入試枠ごとの入学生の追跡調査を行い、学生支援の方法を検討するとともに、高大接続課題の検討も開始します。
- ⑤ 学生のニーズと受験生の動向を注視し、定員枠と入学試験のあり方を再検討します。
- ⑥ 各種資格取得を学部・研究科全体で戦略的に位置づけます。
- ⑦ 大学院「課題研究科目」の再編を進め、魅力ある大学院づくりを進めます。
- ⑧ 大学院教育の充実のために研究費の戦略的配分を進めます。

3. 施設

- ① 滝子キャンパスの一体化と整備に協力し、魅力ある研究、教育環境を創造します。
- ② キャンパス施設のユニバーサルデザイン化を進めます。

4. 働き方

- ① 女性研究者をさらに増加させます。子育てや介護で困難を抱える教職員をサポートする制度を大学全体と協力しながら強化します。
- ② サバティカル制度を活用し、教員の研究力、教育力、地域貢献力を高めます。
- ③ 困難な仕事を全員でシェアし、全教職員が働きやすい環境をつくれます。

5. 同窓会・保護者との連携強化

- ① 人文社会学部創立 20 周年記念事業と名古屋市立大学創立 65 周年記念事業を成功させ、同窓会との連携をさらに強化します。
- ② 各界で活躍している卒業生の学部教育活動やキャリア支援活動への参画を進めます。
- ③ 入学式後の保護者説明会を充実させます。
- ④ ペアレント・カミングデー開催を検討します。